

にいかっぷ

HOKKAIDO NIIKAPPU TOWN

議会だより

2015.6.26 / 発行

No.200

第1回定例会・第1回臨時会



- ▷ 新しい新冠町議会議員の顔ぶれ 2 P
- ▷ 委員会について 4 P
- ▷ 一般質問 / 2 議員が 2 項目を問う 5 P
- ▷ 新年度予算 (27 年度) の審議 7 P
- ▷ 条例制定等の審議 21 P
- ▷ 補正予算 (26 年度) の審議 22 P
- ▷ 5 月臨時会の行政報告等の質疑 25 P

新冠の自然に感動!!

5月23日(土)に町観光協会主催の新冠・判官館ウォッチング&ウォーキングが行われ多くの参加がありました。

この時期の判官館は1年で1番の見どころで、新冠の貴重な草花を鑑賞でき、心癒やされる1日となりました。

議長に再び芳住革二氏!!

議会とは

新冠町の議会は住民から選ばれた12人の合議体で、町（役場）の条例（ルール）や予算（お金の使い方）など町の仕事をチェックし、それらを決定する意思は議決という手段において表されます。

議員は住民の代表者として議会の構成員となり、議員の一文一句は住民の意見であり、声です。議員が行う質問や質疑・討論は住民の疑問であり意見です。

したがって、町から提案される議案等の審議の際に表決される1票は住民の立場に立った1票でもあるのです。

議長と副議長

議長と副議長は、議員の中から選挙で選ばれます。

議長は議会の代表であり、議会の構成上欠かすことのできない重要な地位にあります。

議長は、議会の仕事を監督や指揮し、円滑な会議の運営や議事を進行します。

副議長は、議長が病気等により不在となった場合に議長の代わりを務めます。

芳住革二議長



芳住 革二
(よしずみ かくじ)

議長に指名された私に課せられた重責を果たすため、他の議員皆様の協力を得ながら、全力で議会活動に取り組んで参ります。

また、私を含めてこの度の選挙で町民の負託を受けたことを忘れることなく、議会活動を通じて、よりよいまちづくりに尽くしていきます。

芳住 革二

農業（軽種馬）に従事しており、平成7年5月1日より町議会議員に就任。

23年から議長を務め、今期で議長としては2期目、議員としては6期目を迎えます。

鳴海修司副議長



鳴海 修司
(なるみ しゅうじ)

この度、副議長という大役に就かせていただくことになりました。

身に余る光栄と感謝をいたしますと共に、責任の重さに身の引き締まる思いでございます。

微力な私ですが、芳住議長の手足となり、支えができるよう力を尽くし、議会の公正かつ円滑な運営に誠心誠意努力して参ります。

鳴海 修司

昭和50年に新冠町役場に就職し、平成23年3月31日に定年退職。同年5月1日より町議会議員に就任。

今期より副議長を務め、議員としては2期目を迎えます。

第19期新冠町議会スタート!!



今期の新冠町議会議員 の顔ぶれ

平成27年4月26日に行われた町議会議員選挙で、今期の新冠町議会議員が選出されました。

任期は平成31年4月30日までです。ここでは正副議長以外の議員の顔ぶれを紹介させていただきます。(順番は議席番号です。)

また、次ページでは各委員会等の構成についても簡単に紹介させていただきます。



堤 俊昭
(つつみ としあき)



竹中 進一
(たけなか しんいち)



須崎 栄子
(すぎき えいこ)



武田 修一
(たけだ しゅういち)



但野 裕之
(ただの ひろゆき)



氏家 良美
(うじいえ よしみ)



長浜 謙太郎
(ながはま けんたろう)



武藤 勝圀
(むとう かつくに)



秋山 三津男
(あきやま みつお)



椎名 徳次
(しいな とくじ)

委員会について

社会経済の進展から、町（役場）の仕事は多様化し、大変複雑になっています。

よって、議会に提出される議案も数多く内容も幅広く、本会議だけでは能率的に処理することや、議員がすべてを理解することが困難となります。

このような問題に対処するため、議会の内部組織として、各分野ごとに専門的な調査・研究を行うために12人の議員を分けて委員会を構成しています。

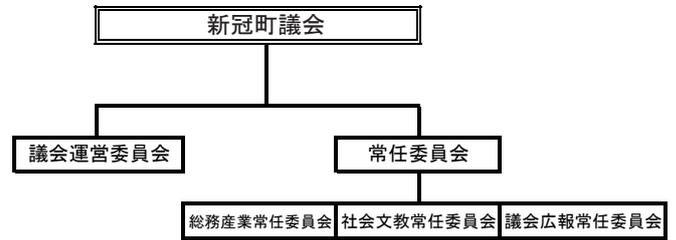
委員会には常設に設置される『常任委員会』、『議会運営委員会』と必要がある場合に設置される『特別委員会』があります。

新冠町の常任委員会は、「総務産業常任委員会」、「社会文教常任委員会」、「議会広報常任委員会」の3つが設置されています。

一方、特別委員会とは臨時特定の事件について設置されるので、その事件の調査や審査が終了すると消滅します。

最近の例では、昨年私達の町の議会議員数は何人が適正なのかを調査・審議した『新冠町議会議員定数調査特別委員会』が記憶に新しいところです。

＜ 構成図 ＞



総務産業常任委員会

これまで定数6人としていましたが、今期より8人とし活性化を図ります。主にまちづくり・行財政・税・防災・商工・観光・産業・土木などの分野を取り扱います。

委員長	竹中進一
副委員長	堤俊昭
委員	氏家良美
委員	但野裕之
委員	武田修一
委員	秋山三津男
委員	長浜謙太郎
委員	鳴海修司

社会文教常任委員会

こちらもこれまで定数6人としていましたが、今期より8人とし活性化を図ります。主に福祉・衛生・医療・学校教育・社会教育・文化などの分野を取り扱います。

委員長	武田修一
副委員長	武藤勝一
委員	竹中進一
委員	堤俊昭
委員	但野裕之
委員	須崎栄子
委員	椎名徳次
委員	鳴海修司

議会広報常任委員会

これまで特別委員会であったものを今期から常任委員会とし、議会だよりの編集及び発行や議会広報と広聴の調査・研究を行います。

委員長	秋山三津男
副委員長	長浜謙太郎
委員	竹中進一
委員	但野裕之
委員	鳴海修司

議会運営委員会

円滑な議会運営を図るため、議事の日程や審議の手順などを協議します。また、これ以外にも議会の会議規則や委員会に関する条例、議長の諮問事項なども取り扱います。

委員長	但野裕之
副委員長	堤俊昭
委員	竹中進一
委員	氏家良美
委員	武田修一
委員	鳴海修司

監査委員（議員選出）

椎名徳次

一部事務組合等議会議員

- 日高中部広域連合議会議員 秋山三津男
- 氏家良美
- 日高中部消防組合議会議員 但野裕之
- 長浜謙太郎
- 日高中部衛生施設組合議会議員 椎名徳次
- 武藤勝一
- 日高地区交通災害共済組合議会議員 須崎栄子

一般質問

町政のここが聞きたい

第1回定例会での一般質問は、質問と答弁内容を要約してお知らせしています。
詳しく知りたい方は、議会事務局及びレ・コード館図書プラザで閲覧することができます。

農業振興

Q 日本型直接支払制度の 取り組みにGISの導入を

A 現システムに改良を加え対応する



竹中進一議員

竹中議員

当町の基幹産業である農業は、常に厳しい状況で特に中山間地域は耕地がせまく経営が非効率である。

国は農地の再編・大規模化による効率的で魅力的な農業を目指し、中山間地域など条件不利な地域を対象に、平地とのコスト差を支援する日本型直接支払制度の取り組みを促しているが、当町は一部しか取り組んでいない。この制度の予算は平成27年度より282億円から483億円へ倍増した。25年度は道内97市町村中367の活動組織があり、交付金額82億4200万円で管内他町では一農家平均41万6千円となっている。

今年2月に関係機関から対象農家へ制度等の案内が届いたが、町はどのように対象地域へ広げようとしているのか。また、農地の確定には面積や傾斜度の測定が必要であり、GISを導入し衛星のGPS機能と連動した総合型公共施設台帳等を多目的に活用してはどうか。さらに専従の事務員も必要と思うが。

※ GISとは、地理的位置を手がかりに、位置に関する情報データを管理・加工のうえ視覚的な表示で高度な分析等を可能にするシステムです。

小竹町長

町が従来取り組んできた制度は、耕作放棄地の防止から農地等の保全管理

が困難な地域で、共同活動を支援し農業の多面的機能の発揮や、安全な生産基盤の確立等のため、農業者自らが率先し地域を結束する活動を行ってきた。26年から関連制度が一本化されたので、3月下旬から地域に制度活用の説明を行う。

対応するシステムの導入は、多額な費用を要するため、現在農業委員会で利用している農地台帳システムをベースに、解像度の高い航空写真データの取り込みや、圃場の図化作業には農地周辺5m以内の道路・水路など必要最低限の情報を取り込みに抑え、コスト削減にも配慮し農業や農政業務に特化した農地情報GISの構築に向け、他の業務への必要性が生じた際は、このGISをベースとしたシステムづくりを検討したい。

事務体制は複数の地域で実施される場合、町は事務局を統括する調整役に徹したい。



傾斜で狭隘な耕地

Q 当町に地域防災マスターはいるのか

A いないが必要と考え積極的な周知・啓発活動を行う



但野裕之議員

但野議員

北海道は1月21日に道内各市町村の自主防災組織の結成状況を発表した。平成26年度の自主防災組織率は51・3%で全国平均の80%に比べると大幅に下回っている。当町の組織率は53・9%となっているが、組織されている自治会はどこか。どのような実態で組織率を計ったのか。

また、道は29年度までに組織率を全国平均80%までに引き上げる目標を設定し、制度の周知を徹底した中で、地域防災マスターの増員を図りながら自主防災組織率を向上させようとしている。当町に地域防災マスターは何名いるのか。

道からどのような指導を受け、道が設定した目標に向けてどのように対処するのか。その施策は。

小竹町長

当町の自主防災組織の現状や把握は、平成15年8月の災害を機に調査し、町内17自治会が結成しており、これを受け例年組織率を報告している。

平成26年度は2681世帯に対し1445世帯で53・9%の組織率が公表されたもので、その後の調査で5自治会が結成し、現在は22自治会で組織率72・2%となっている。

現在、道は自主防災組織の啓発パンフレットを作成中で、今後具体的な組織化促進施策が示されるが、少子高齢

化の中で地域に根ざした防災活動の重要性が高まり、今後自主防災組織の活動把握と活性化及び充実に努めたい。

当町に地域防災マスターの認定者はいないが、地域防災活動を担う人材育成は不可欠と考える。認定研修会の開催案内を町広報紙に掲載し、各自治会に案内すると共に、避難訓練時に自主防災組織や地域防災マスターの啓発活動を行いたい。

《再質問》

但野議員

災害対策基本法で、町長の責務として自主防災組織の充実を図り住民の自発的な防災活動を促進し、町の有する機能を十分に発揮するよう努めなければならぬとされている。

また、平成27年度町政施行方針の『安全で安心して暮らせるまちづくり』の中で、自助及び地域による共助の意識醸成・向上に努め、町民と共に災害に強いまちづくりを進めるとし、さらに津波や大雨、土砂災害などの自然災害に対し、速やかに対応できるよう危機管理体制の強化に努めるとしている。まさにこの危機管理体制の強化を図るには自主防災組織が必要不可欠である。なぜ、昨年7月に行われた様似町の地域防災マスター認定研修会に参加者を積極的に募らなかつたのか。道の指導の有無に関わらず、組織率80%を達

成すべく、早急に取り組む意思はあるのか。

小竹町長

昨年5月の町広報で、防災マスター研修会を周知したが十分ではなかつた。決して消極的ではない。自主防災組織はかなりの自治会に理解されているので、今後も自主防災組織の設立に向け、働きかけを続けたい。



様似町で行われた研修会の模様

平成27年度予算 7会計総額 72億1117万円のまちづくり

～新年度の各会計予算は、議員全員で構成する予算審査特別委員会に付託され、慎重審議した結果、『可決』としました。～

◎審議の内容を以下に掲載していますので、どうぞゆっくりお読み下さい。

区 分	今年度	前年度	増減額	増減率
一般会計	48億2400万円	48億1000万円	1400万円	0.3%
特別会計	23億8717万円	21億6985万円	2億1732万円	10.0%
簡易水道事業特別会計	4億3717万円	4億1891万円	1826万円	4.4%
下水道事業特別会計	2億1922万円	1億8094万円	3828万円	21.2%
国民健康保険特別会計事業勘定	9億1274万円	7億8387万円	1億2887万円	16.4%
後期高齢者医療特別会計	6884万円	7103万円	▲219万円	▲3.1%
介護サービス特別会計事業勘定	2億9791万円	2億9930万円	▲139万円	▲0.5%
国民健康保険診療所事業特別会計	4億5129万円	4億1580万円	3549万円	8.5%
総 計	72億1117万円	69億7985万円	2億3132万円	3.3%

平成27年度当初予算の審議
予算審査特別委員会
 3月10日～12日
 事業予算と質疑Q&A

一般会計（歳出）

総務費

▼ふるさと納税の特典品

竹中委員

寄附の実績を伺う。

中村総務課長

2月末で3340件の金額4千万円
 となっている。

竹中委員

全国上位の市町村では牛肉を取り
 扱っている。当町でもどうか。

島田産業課長

検討した経過はあるが、取り扱い事
 業者の商品継続性や安定供給からも難
 しいと考える。
 以外にも様々な事情で実現していな
 いが、改めて商工会等を通じ検討した
 い。

▼マイナンバー制度の取り組み

寺田委員

多数のシステム改修委託料を計上し
 ているが、マイナンバー制度に対応す
 るためか。

中村総務課長

住民基本台帳等11システムの改修委
 託料を計上し、来年1月実施に向けた
 準備を進める。

寺田委員

①全ての住民に個人番号が通知される
 が、DV等で届いてはいけない方にも
 届く危険性がないか。
 ②個人情報保護の観点から問題が多く、
 準備が困難では。
 ③民間事業者も準備が進んでいないが、
 制度導入に問題ないか。

中村総務課長

①現状でも住民係でプライバシーに配
 慮し取り扱っている。
 ②準備作業中で、関係する条例改正も
 でき次第提案したい。
 ③民間事業者も困惑しているが準備等
 は進めている。

寺田委員

①個人情報保護条例で関係システムと
 の結合はしてはならない。マイナン
 バー制度が始まると条例改正が必要で
 ないか。

②民間事業者でも、従業員の源泉徴収
 票などにも個人番号が記載され、情報

が流出する危険性がないか。
 ③個人番号を会社に知らせることがわ
 からない人は、給与が支給されないの
 では。

中村総務課長

①②③今後十分検討したい。

▼①特別旅費

282万9千円

▼②借上料

72万円

▼③宛名クレンジング作業委託料

鳴海委員

①前年に比べ増額している要因は。
 ②事業内容は。
 ③どのような作業を行うのか。

中村総務課長

①道外の研修機関へ職員を派遣する際
 に、従来負担金で予算措置していたが
 今年度より旅費とした。
 ②派遣する職員の住宅借上料。
 ③マイナンバー制度を導入する際の初
 期作業の1つ。

▼西泊津町有地スウィートタウン 地先周辺整備工事

武田委員

道路の出入り口が1カ所のため、災
 害等が生じた場合に支障を来すのでは。

坂東建設水道課長

今後、状況を調査し検討したい。



スイートタウンの出入口口

芳住委員

事業内容は防風林の植栽とのことだが、どのような計画となっているか。

坂東建設水道課長

エゾアカマツ33本等を購入し職員で対応しようと考えている。

芳住委員

防風林を設けることにより、倒木等で住宅に被害を与えることが想定されるが、配置図などはどう考えているか。

坂東建設水道課長

町の林務担当者を交え、配置もある程度考えているが再度検討し進める。

▼公共施設外壁赤外線診断・非常用照明・換気風量測定各点検査務委託料

鳴海委員

この業務は法に基づくものか。また、何年に1度の業務か。

坂東建設水道課長

3年に1度の法定業務。

▼結婚の森の管理

芳住委員

相当年数が経過しているが管理状況や伐採の計画は。

坂本産業課総括主幹

年によって除伐や間伐を行っている。伐採はカラマツ植栽後40年、トドマツは50年を過ぎてから行う。

芳住委員

大富にも結婚の森があるが整備された形跡がない。これまで除伐した経過はあるのか。

坂本産業課総括主幹

2回ほど行っている。

芳住委員

植栽者に一定程度の配当ができないか。

坂本産業課総括主幹

過去に20万円程度で売り払いし、植栽者に支給した経過がある。

芳住委員

現在の価格面から、植栽者に配当し町が管理を行い、伐採せず保安林として残してはどうか。

小竹町長

植栽者とも相談しなければならぬので、今後検討したい。

▼森林国営保険料

33万7千円

鳴海委員

多い年の半額程度の額だが、算出根拠と適用範囲は。

島田産業課長

5年間分を一括して支出するもので、内容は倒木等の補償となっている。

鳴海委員

面積は。

島田産業課長

今回、加入する面積は197・37haである。

鳴海委員

町有林すべてが適用となるのか。

島田産業課長

5年毎なので、来年は5年過ぎたものがまた対象となる。

▼町コミュニティバス運営事業

武田委員

バスを導入し、町内全域及び新ひだか町静内地区の医療機関へ送迎も加え、

高齢者や子どもの交通弱者、学生等の足を確保することで大きく期待される。

そこで、現在JR日高線が土砂流出等で不通だが、これに伴い事業内容に変化はあるか。

佐藤企画課長

状況の変化によっては、町もJRと接続できるよう調整していく。

堤委員

先般、住民にチラシが配られたが疑問点などの問い合わせはなかったか。

佐藤企画課長

利用者によっては、どの時間帯を見てよいかわかりにくいので、問い合わせがあれば個別の時刻表等を作成し対応している。

堤委員

利用者によっては、静内地区への接続に不満を感じているようだが。

佐藤企画課長

スムーズな接続を重要視しているのは、朝と夕の通勤・通学便であるが、事情のある方もいると思うので、その場合は検討したい。

堤委員

バスの台数が増えるが、車庫と従業員の休憩室はどうするのか。

佐藤企画課長

町公用車とこども園の車庫を活用する。休憩室は委託業者で対応すべきと考える。

秋山委員

運転に2種の免許は必要ないか。

佐藤企画課長

この事業の関係法律で、2種の免許がなくても指定された講習を受けた修了者であれば運転できる。

お試し生活体験事業

鳴海委員

26年度の利用者の実績値と感想はどうであったか。

佐藤企画課長

実績は16人で、感想では特段評判は悪くなかった。

定住・移住促進引越助成金

125万円

芳住委員

今年は、食肉センターのオープンで多くの方が転入してくると思うが、事業の対象とならないか。

佐藤企画課長

対象は住宅を取得し引越される方に限定している。

まちの不動産屋さん運営費補助金

26万円

芳住委員

26年度に活動した内容を伺う。

佐藤企画課長

中古住宅等を登録してもらい、ホームページで物件を周知するが、多くの方は個人の伝手で売却等しているの事実ではゼロとなっている。

ただし、今後はもつと空き家が生じると思い、高齢者等が参加する事業に訪れ、持家を処分したい方にPRしたい。

地域コミュニティ活動支援事業補助金

5万円

芳住委員

事業内容をスケートリンクの造成としているが、生活環境の整備や地域住民の健康増進も対象である。

地域によっては、空き缶拾いや町有地内での草刈り等も行っているが対象とならないか。

佐藤企画課長

実態を確認し検討したい。

高規格幹線道路日高自動車道の動き

武田委員

見直しなどは。

小竹町長

厚賀インターチェンジが30年3月までに開通の予定となっている。

ハイヤー券の交付

椎名委員

交通事故防止の観点から、65歳以上の方で免許証を返納した場合に限り、ハイヤー券を交付してはどうか。

小竹町長

町は従来から身体に障がい等を持つ方々に、様々な施策を講じているが今後も関係者と協議したい。

管内地方税滞納整理機構負担金

261万3千円

但野委員

①今年度は取引件数20件だが、前年度より件数と負担金が減の要因を伺う。
②前年度の徴収率は、20・47%と近年で最低の率となっているが要因は。
③昨年行われた25年度の決算審査で、『適切かつ効果的な徴収対策を講じ、収入未済額の解消を図ること。』と意見したが検討はされているか。

池田収納対策本部長

①職員のノウハウの向上や人員体制が整い、分割分納等で誠意ある納税者が増えたので、機構への依頼件数・金額が減った。

宗元税務課長

②率は12月末のもので、2月末現在では140万ほど徴収額が増えているの

で率も上がっている。

③検討している。

新たな税の徴収方法

竹中委員

ページの導入について検討しているか。

宗元税務課長

インターネットで自分の預貯金から税金等を支払う方法だが、町の関係システムの改修や金融機関と連携するサーバーの費用に、1千万円以上かかるので難しいと考える。

竹中委員

納税者の利便性からも検討してほしいが。

宗元税務課長

費用面を含め検討を続ける。

結婚記念品購入費

42万円

武田委員

新冠温泉の宿泊券をプレゼントすることだが、この内容とした理由は。

奥山町民生活課長

20組を想定し、人生の節目によい思い出や記念となるよう選定した。

民生費

▼①障がい者計画策定推進事業

4万3千円

▼②地域生活支援事業

104万8千円

但野委員

- ①前年度予算から減しており、委員会の開催数も3回から1回としているが、事業内容に支障はないか。
- ②利用予定数が前年同数の4名なのに、予算が前年度から増としている理由は、

堤保健福祉課長

- ①前年度は、3年に1度新しい計画をつくるため委員会を3回行った。今年度は、その計画の点検や評価を行うため1回としている。
- ②利用者の1回の時間数が延び費用が増となっている。

▼障がい児(者)支援体制整備

事業委託料

鳴海委員

事業内容を伺う。

丸本保健福祉課総括主幹

節婦町にある子ども発達支援センターの事業で、専門的な分野を外部の機関に委託している。

▼高齢者保健福祉計画

策定推進委員報酬

3万9千円

但野委員

- ①前年度より減額されている理由は、
- ②活動内容は、

堤保健福祉課長

- ①前年度は、3年に1度新しい計画をつくる年であったため委員会の開催が多かった。
- ②通常年であれば、計画の点検や評価を行っている。

▼ふれあい夕食事業委託料

但野委員

- ①見直しを図り、委託先を社会福祉協議会から民間業者へ変更することだが、この間に何度協議を行い3者交えての協議も行ったのか。
- ②前年度は何食配食し、今年度は何食配食する予定か。
- ③今年度委託料を大幅に増額しているが、食数で割り返すと1食あたりの単価も増となっている。これは配達料の上乗せか。
- ④配達に困難が生じた時のバックアップ体制は取られているか。

また、配達にあわせ安否確認を行うが、新業者は事前研修等を終えているか。

堤保健福祉課長

- ①移送サービスの利用者が増えたので、充実を図るため社会福祉協議会と10回ほど、民間業者とも5回ほど協議したが3者では行っていない。
- ②前年は27食で今年度は28食を予定している。
- ③調理と配送を含めた人件費を加え、1食あたり100円を上乗せしている。
- ④今後内容等十分精査・検討しバックアップ体制を整えたい。事前研修は終えている。

▼訪問看護ステーション交通費助成金

11万6千円

寺田委員

交通費を助成することだが、ステーションはどこにあるのか。

堤保健福祉課長

新ひだか町静内の保健センター内にあるが、当町の社会福祉協議会に出張所があり、受け付け等行っている。

寺田委員

ステーションと介護保険とのリンクは、

堤保健福祉課長

現在の利用者は、医療保険の方が5名で介護保険の方が11名おり、双方の請求行為が可能となっている。

▼家族介護者リフレッシュ費

11万3千円

堤委員

対象家庭と利用者数を伺う。

堤保健福祉課長

現在対象者77名中3名が利用している。

堤委員

利用者増を図る観点で、数年前から日数を3泊にしたと思うが、実態は予定通りとなっていない。どう判断し改善の余地はないのか。

堤保健福祉課長

利用者は減っており、施設入所や病院へ入院する方が増えている。利用拡大に向け対象者に相談や説明を行う。

▼高齢者等生活援助事業

452万1千円

但野委員

前年の予算より70万円以上の減なのに、計画利用人数を約40名増としているが、事業に支障はないのか。

堤保健福祉課長

事業内容は、社会福祉協議会のヘルパー4名分の人件費の支援である。利用者が増えたので社会福祉協議会の収入が増え、町の持ち出しが減った。

▼高江農村環境改善センター

外部改修工事

武田委員

工事内容と実施時期を伺う。

坂東建設水道課長

内容は基礎まわり・外壁・屋根等の補修で、時期は自治会と相談し決める。



後に改修が行われた高江農村環境改善センター

▼老人等緊急通報システム

武田委員

実際の使用頻度等は。

堤保健福祉課長

25年度は急病が5件、26年度1月末では急病が8件と怪我が1件となっている。利用実態は、25年度は市街地80%その他20%、26年度は市街地55%その他45%。

▼高齢者事業団運営事業補助金 100万円

鳴海委員

事業団の事務局長も業務現場で作業しているが、原因は会員不足なのか。人材確保の対策は。

堤保健福祉課長

会員不足である。人材確保に向け再度検討したい。

▼今年の子育て支援センター事業

但野委員

前年の事業内容から変化はあるか。

工藤管理課長

新たに地域子育て支援拠点事業として、親子の交流等を促進し機能の充実を図り、子育ての不安感等を緩和する。

衛生費

▼インターンシップ報償金

(保健師採用に関わる事業)

8万8千円

但野委員

- ①どこからの受入れを想定した予算か。
- ②指導する職員の資質向上から、マンツーマン体制で行うのか。

堤保健福祉課長

- ①最も遠方に関係大学がある北見市を想定し、2名の受け入れを考えている。
- ②共に活動してもらおう。

但野委員

予算内容は、交通費等が含まれていない事業運営の費用と考えてよいか。

堤保健福祉課長

謝礼金と5日間の交通費を計上している。

武田委員

目的は保健師の人材確保か。

堤保健福祉課長

保健師志望者が少ないため、この制度で仕事を経験してもらい、当町に就職してほしい。

武田委員

保健師が定着しない理由は。

堤保健福祉課長

主は個人的な理由。

武田委員

事業の効果と期待は。

堤保健福祉課長

過去に同様な受け入れを行い、採用にいたったこともあるので、採用の円滑化からも必要と考えている。

▼新ひだか町立静内病院婦人科

運営負担金

488万4千円

鳴海委員

増となった要因は。

堤保健福祉課長

病院の収入から支出を引いた残額を新ひだか町と折半するもので、前年は開業前だったので概算で積算した。

▼各種予防ワクチンの取り扱い

椎名委員

町内でも帯状疱疹にかかる方が多く、アメリカではこの予防ワクチンの補助があると聞けが、当町の考えは。

堤保健福祉課長

難しい問題もあるが検討はしている。

寺田委員

子宮頸がん予防のワクチン投与事業で、危険性や効果等から、国は積極的に進めないが中止とはしていない。当町の取扱いは。

堤保健福祉課長

国の指導もあり、そのように取り扱っている。

寺田委員

投与を受けている町民はいるか。

堤保健福祉課長

前年はいないが過去にはいた。

寺田委員

後遺症等はどうかであったか。

堤保健福祉課長

特に報告は受けていない。

寺田委員

現在の各種検診の周知内容では、受

診希望者の不安が払しょくされないと思いが。

堤保健福祉課長

検討を加え親切丁寧な周知を図りたい。

▼畜犬登録頭数と狂犬病の予防接種

芳住委員

現状を伺う。

奥山町民生活課長

26年度は、登録468頭のうち予防接種をしたのは395頭である。

芳住委員

本来は一致しなければと思うが、接種・未接種を把握しているか。

奥山町民生活課長

基本的に台帳で把握しているが、接種の可否は獣医が判断するので一致しない。

▼ごみ収集運搬業務委託料の増

鳴海委員

人口減少で収集量が減の中、全般的に増としている要因は。

奥山町民生活課長

前年に収集運搬車両の更新を行っており、今年には減価償却費等の経費を満度に見ているので増額となっている。

農林水産業費

▼野菜促成栽培施設自動換気設備

整備事業補助金

602万5千円

竹中委員

補助対象113棟となっているが、今年春に新設したハウスは対象となるか。

島田産業課長

本事業は、3カ年の事業計画をつくり道の交付金を使って2年間で行う。予算は前年時点の予定であり、今年の春に農協が取りまとめて秋に行う。

竹中委員

春に新設される方もいると思うが、事前着工は対象にできないか。

島田産業課長

春は基本的に作物の生産作業があり、農家は来年度の生産に向けて秋にハウスを建てる。事前着工は対象にできない。

▼独身者のパートナー対策

椎名委員

人口減少の歯止めのため、町はどのような考えを持ち進めるか。

中村副町長

一次産業の独身者が多いので、町や農協職員が相談し新たな取り組みを考えている。今後具体的な動きが出てくると思う。

▼①広告料

200万5千円

▼②借上料

195万円

▼③野菜促成栽培施設自動換気設備整備事業の補助要件

鳴海委員

①②内容を伺う。

③1棟に何基設置等の面積的な基準はあるか。

また、設置時期から効果が疑問に思いついどのような評価を得られているか。

島田産業課長

①農業支援員を募集するインターネット広告。

②農業支援員が研修する施設や農家に行く際、自家用車を使用するのでその借上料。

③1棟に1つの自動巻き上げ機で面積要件は特に設けていない。

労働力の削減と適正な温度管理が収量にも影響する旨、関係機関から意見をいただき事業を行う。

▼農業サミットの意義

芳住委員

サミットの内容を伺う。

島田産業課長

農協からの要望で町長と懇談する機会を設けている。回数は特に決めていない。

芳住委員

トップだけの話し合いなのか。農協の要望事項を受け入れるものとしたか考えられないか。

中村副町長

要望だけではなく、農業が抱えている問題等情報交換の場と認識し、行政の考え方を意見交換し互いの理解を深めている。

芳住委員

各振興会の代表者も交えなければ、細かな協議ができないのでは。

小竹町長

必要に応じて現状を変更する考えはない。

芳住委員

農業振興施策について、予算計上前に議会に相談できる事業もあるのではないか。

小竹町長

町は、よく調査し必要と判断した時に議会に提案している。農業サミットは必要があれば常に開催し、農業振興を様々な角度から検討する。

▼①農地整備(単独営農用水)事業負担金 466万円

▼②日高門別土地改良区運営事業助成金 15万円

鳴海委員

①事業の完了予定年度は。
②対象組合員の脱退等、新冠農協への移行の現状と見通しは。

坂東建設水道課長

①目標は29年度。

島田産業課長

②対象者は50名程度で現在その中で調整している。

竹中委員

①農地整備は、今後行う簡易水道第2地区とリンクしているのか。

②水土里(みどり)ネットとの関連は。

坂東建設水道課長

①道が配水管の調査と工事を行い、町が道に負担金を支出する形で芽呂地区の簡易水道を整備したい。
②ない。

※ 水土里(みどり)ネットとは・土地改良区という農家の組織で、農地整備や農業水路の維持管理などを行っています。

▼肉牛の振興

武田委員

和牛センターでも効率的な和牛改良

を進めていると思うが、育種価データを活用した能力の高い牛の選抜頭数の割合は。

島田産業課長

指数60点以上はメスであれば後継牛とする。50点以上は、メスが生まれた場合に残すかの判断を行う。50点未満は、いくつかの手法で子牛が産める年齢までは活用していく。

武田委員

今後、順調に進めて行けると理解しているのか。

島田産業課長

農家の方と合意し事業を進めているので問題ない。

武田委員

育種価能力の高い受精卵を、和牛改良組合や振興会に提供していると思うが現状は。

島田産業課長

組合員や振興会にそれぞれ50個程度提供している。

武田委員

強化に向けて何に努力するか。

島田産業課長

受精卵で能力の高い牛を早くつくり、素牛産地の定着を図りたい。

▼軽種馬市場上場促進事業補助金 484万5千円

竹中委員

町独自事業による1頭に対し最高

3万円の補助制度だが、他の関係機関の支援制度が引き下げられているため町で何か策は考えられないか。

島田産業課長

管内他町にはない独自事業である。額の引き上げは考えていない。

▼町和牛育種推進協議会補助金 226万2千円

但野委員

前年度から約150万円減額しているが、事業内容に支障はないのか。

島田産業課長

和牛センターに生産者が預託した間に死亡や、早期出荷等で損失が生じた場合に補助する。

よって、見込みが難しいので過去の平均額等から積算した。

▼黒毛和種繁殖雌牛導入事業補助金 100万円

但野委員

①前年度より減額しているが、今年目標頭数と減とした理由は。

②前年の予算委員会、生産者より15頭導入の意向を受けて、減額する場合は農家・農協とよく話し合い、柔軟に対応すると答えていたがその場面はあったか。
③目標頭数達成のため、生産者や農協

と検証することだったが結果は。

島田産業課長

①今年1頭あたり10万円の10頭を予定している。

②農協とは協議している。目標頭数はその後の生産者の事情で減となった。

③このまま事業継続するのではなく、新規就農者や経営転換を図る方に適した制度とする検討をしたい。

但野委員

この事業に関しては、ある程度目的を達成したと理解してよいか。

島田産業課長

当初目的の1600頭をクリアしたので達成したと考える。今後は和牛センターで行っている育種価事業の検討を始めたい。

▼酪農ヘルパーの育成

椎名委員

搾乳機器の使用経験や技術が乏しいと聞いているので、町も補助する観点から指導してほしいが。

島田産業課長

農協やヘルパー組合に伝える。

▼軽種馬販売促進事業補助金 84万5千円

堤委員

①前年度の申し込み頭数と平均的な売却額は。

②今回、定額制から補助対象経費を明確にしたことだが詳細は。

島田産業課長

①申し込み29頭で、売却は5951万円の1頭あたり270万5千円。

②前年度は1頭あたり1万円の負担金だったが、1頭の動画や写真を撮影するのに2万8千円要するので、今年度は頭数を増やすため6千円引き下げ、残り2万2千円を町が半額持つ。

芳住委員

作成するチラシやポスターの内容は。

島田産業課長

インターネットに動画を掲載するが、そのサイトを中央競馬や地方競馬の馬主会、北海道市場の方に見ていただく内容となっている。

▼①黒毛和種繁殖素牛購入費等

425万2千円

▼②預託牛管理費

2576万円

▼③車両借上料の未計上

但野委員

①②前年度より約200万円減額しているが、事業に支障はないのか。

③今年度未計上なのはなぜか。

島田産業課長

①素牛の購入に大きく変化はない。他の備品購入費が前年より減となっている。

る。

②前年度は外柵や格納庫の解体工事があつた。事業運営には支障ない。

③リースアップしたく残価を備品購入費で計上している。

▼和牛センター用備品購入費

芳住委員

何を購入するか。

島田産業課長

消毒の徹底から、ピージア水と呼ばれる塩素酸水と噴霧器等を購入する。

芳住委員

購入前に実証実験は行っているか。

島田産業課長

26年に1年間使用し、診療率・額ともよい数字となった。

芳住委員

結果は肉牛農家に報告しているか。

島田産業課長

町からは伝えていない。家畜の病気に携わる家畜自衛防疫組合が対応すべきである。

芳住委員

よい結果なので、町有牧野が基本となり進めるべきと思う。

肉牛も当町の農業で、非常に高位な位置を占めているため、町も適切な対応が取れる措置をすべきでないか。

島田産業課長

関係機関へピージア水等の説明はし

ている。町有牧野で判明した効果は今後も広めたいと考え、購入は家畜自衛防疫組合で検討している。



効果のあるピージア水

▼ヨ一ネ病（牛の伝染病）の発生

武田委員

現状を伺う。

島田産業課長

前年度が5年に1度の定期検査の年で、町内では1戸の農家の方で発生した。

武田委員

引き続き進めている検査等の対策は。

島田産業課長

法定伝染病なので、1度発生すると3年間引き続き検査義務が生じる。期間内に定期的な検査を行うことになる。

▼熊捕獲奨励報償金

20万円

椎名委員

当町は1頭あたり1万円であるが、檻の設置等は重労働なので補助者にも支給してほしいが。

また、無理となればウインチの購入を検討してほしいが。

島田産業課長

猟友会との相談や管内各町の状況も踏まえ、今年度から単価を2万円にしたので補助者もそれに対応してほしい。

▼今年のカラス捕獲委託料

但野委員

今年の予算に、前年まで計上されていたこの委託料がない理由は。

島田産業課長

節婦町の神社にカラスの檻を設置していたもので、場所が高規格道路の敷地内に触れるので、自治会とも協議し撤去した。

通常の捕獲料は、有害鳥獣を駆除する委託料に含まれている。

▼エゾシカの被害状況

堤委員

道内・町内の生息頭数の状況と適正な生息頭数を伺う。

島田産業課長

25年度道内約56万頭で日高管内が所属する西部地域は約35万頭。道の計画では、28年度西部地域で28万頭を目標にしている。

堤委員

農業被害額の実態はどうか。減少しているか。

島田産業課長

農協が各農家に聞き取りしたところ、24年度は1億2134万円、25年度が1億1672万円と微減となっている。

▼**タコツペ湿原の管理**

芳住委員

保水が上手くいかず補修が難しいようだが、どのように管理していくか。

佐藤企画課長

原因となっていた木道の一部を撤去したが、再度現地を調査したい。

武田委員

植物の保護から、管理人は適正に巡回しているか。

佐藤企画課長

必要に応じ看板等を立てているが、1名体制なので目が行き届かないこともあると思う。
時期によっては巡回を増やしたい。



5月に職員で行った保全作業

▼**節婦漁港の管理**

寺田委員

管理者は誰か。

島田産業課長

北海道知事。

寺田委員

現在、土砂の流出で日高本線が止まっているが、節婦漁港に影響はなかったか。

島田産業課長

漁組にも確認したが大きな被害は出ていない。ただし、ホッキや昆布はこれから漁の時期を迎えるので今後の状況に注視したい。

寺田委員

町長は被災現場等を視察しているか。

小竹町長

訪れていないが道の関係機関は視察

している。対策はJRだけでなく道にも要望し、その結果を見て今後対応を検討したい。

▼**新冠町の昆布**

芳住委員

昆布の収量と売り上げは。

島田産業課長

26年4月から12月までで1万2827kgの1600万円。

芳住委員

今年の予算は、昆布関係が全く計上されていないが十分栽培できていると理解してよいか。

島田産業課長

昆布礁の投石を数年前から継続し実施してきたが、根の活着が悪く前年度と今年度は、以前投石した箇所状況を見て、事業化に向けた判断を漁業者が行う。

商工費

▼**リニューアル構想**

秋山委員

町長の執行方針で、新冠温泉や道の駅のリニューアルを検討していることだが計画内容を伺う。

佐藤企画課長

予算措置は今年度していない。今後

の検討で事業展開含め内容を固めたい。

道の駅はプロジェクトを立ち上げているが、進み具合は。

秋山委員

駐車場の出入り等の問題と、建物本体の休息スペースや地元産品が少ないこと等、ソフト面とハード面の課題点を整理している。

佐藤企画課長

▼**新冠温泉の指定管理**

寺田委員

- ①今年度の指定管理料は。
- ②指定期間の満了はいつか。
- ③指定期間が複数年度にわたる場合は、管理料の支払いが確実に見込まれることから、債務負担行為を設定する必要があると思うが、なぜしないか。

佐藤企画課長

- ①1583万8千円。
- ②平成25年10月1日から28年9月30日まで。
- ③管理料は毎年交わす年度協定で定められているが、最終的には年度精算し支出するため、債務負担行為としていない。

寺田委員

債務負担行為を設定しない根拠は国の通知か。

佐藤企画課長

平成22年12月の通知で、委託料の支出が確実に見込まれる場合に設定する

こととされているが、当町は毎年金額が変わるので設定していない。

寺田委員

議会に将来負担額の限度を提案しないのは軽視ではないか。また、指定管理者は期間中財政担保がなく、場合によっては経営努力によるコスト削減をしたために、翌年度の指定管理料が削減される心配をするが、町の将来的な考え方は。

中村副町長

町も再度どのような方法が適正か検討する。

▼町観光協会補助金

651万6千円

鳴海委員

今後の協会事務所はレ・コード館内に置くのか。また、担当する町職員も館内に配置させるのか。

佐藤企画課長

事務所は館内に置くが、町職員は役場庁舎内に配置する。

鳴海委員

今年も国の支援制度で2名分人件費の予算措置がある中、現協会の専務と事務職員1名の退職がささやかれるが実態を伺う。

佐藤企画課長

現体制は、国の制度による2名を加えた3名となっているが、今年度の予算編成にあたり協会から事業計画等を

提出いただいたところ、2名分の要求がなかったため新たに1名の採用を考えている。

鳴海委員

①原因は、自主財源確保に向けた組織体制の整備休止や町の観光ビジョンの遅れから、協会の自主事業の拡充に協調できなかった町の方向転換にあると思うが。

②予算資料に記載されている各検討委員会とは何を指し、今年の補助金が減額となる中、積極的な事業展開を図るとは何か。

佐藤企画課長

①一部方向転換した。
②イベントに係る各委員会であり、町・協会・関係者が一体となって基盤をつくらなければ観光振興につながらないと考える。

但野委員

前年より約250万円の減としているが、これまでと同等以上の事業展開が図れるのか。

佐藤企画課長

人員が1名減となる費用の減で、事業内容を工夫し展開したい。

但野委員

事業は主に土曜・日曜・祭日に行われるため、町職員の時間外勤務が増えるが対応は。

佐藤企画課長

これまで同様に時間外手当や代替休暇で対応する。

▼観光協会の体制

武田委員

職員体制は今年から町職員含め何名か。

佐藤企画課長

国の制度による2名に町担当者を加え計5名。

武田委員

新体制によって取り組みなどに変化は。

中村副町長

より一層町と協会で協議を深め、観光振興を進める体制とした。

▼観光のシンボル馬像壁画

鳴海委員

前年の予算委員会、1年かけて今後のあり方も含め検討するとの答弁だったが、観光協会総会での町長のあいさつでは撤去意向の発言があった。この真意は何か。

また、予算には撤去費用も未計上で

落下等の危険性も増す中、どのように取り扱うとしているのか。

佐藤企画課長

当町の玄関口でもあることから、改

修に向けた財源確保のために道と協議している。

芳住委員

財源がないとのことだが、最も観光のメインとなりPRしてきたものなので、残す予算としてほしいが。

中村副町長

限られた財源でどう財政運営していくかが問題で、確かに町は以前、壁画の使命は終わったと判断し撤去したい意向だったが、周囲の声や新しい観光振興の観点から考え直した。財源を見つけ修復したい。



修復が望まれる馬像壁画

▼ツツジ植栽地管理業務委託料

椎名委員

新冠温泉のツツジとバラは、観光客

の集客アップを図るため、どのような管理と計画を考えているか。

佐藤企画課長

ツツジとバラのバランスを考え、色分けを含めた配置の入れ替え等を行いたい。

土木費

▼公共土木施設管理台帳現況写真

撮影業務委託料の未計上

鳴海委員

今年度計上していないが、災害等発生した場合に備えて問題はないか。

坂東建設水道課長

毎年行ってきたが隔年でも対応できると判断した。来年はまた予算計上したい。

▼団地内遊具の計画

寺田委員

計画では、北星町のゆとりの団地の次に東町の東栄団地のようなが、経過年数だけではなく、利用頻度等の実態を把握した上で実施順を決めてほしいが。

坂東建設水道課長

今年1年かけて使用状況等の調査を行い進める。

教育費

▼教育委員の選任

寺田委員

選任は一般枠が保護者枠か。

工藤管理課長

保護者である。

▼学校評議員

寺田委員

①今年4月より教育委員会制度の改革が行われ、地域住民と保護者が主体となり、意見を述べる事ができる運営協議会が設置されるが、評議員制度とバッティングはしないか。

②その際、意見が対立した場合に対処する責任者は、今度は町長になるのか。

杉本教育長

①導入する考えはないので影響はない。
②町長と教育委員会が密接に協議する有効な場と捉え、対立は想定していない。

▼中学校生徒部活動バス委託料の未計上

未計上

但野委員

今年度なぜ計上されていないか。

工藤管理課長

泉地区等への道南バス運行路線廃止に伴い計上していない。その分は通常の児童生徒輸送費で計上している。

▼スクールバス運行業務委託料

鳴海委員

金額を大幅増している要因は。

工藤管理課長

現契約が平成23年4月から27年4月の4年間のため、5月からは後に入札し契約するが、算出根拠となる労務単価が増となった。

▼就学援助費の支給時期

秋山委員

入学準備する保護者の負担軽減から、支給を入学前にできないか。

工藤管理課長

算定基礎となる生活保護費の基準が、4月1日以降でないと判明せず、法も在校生に限定し、申請も学校長を通じなので無理と考える。

▼小・中学校のパソコンのOS

竹中委員

OSは何を使用しているか。

工藤管理課長

中学校はウィンドウズ7で小学校は

XPを使用している。

竹中委員

XPでインターネットに接続しているのか。その場合は危険でないか。

工藤管理課長

セキュリティをかけて接続しており、更新は考えている。

▼寄贈されたレコードのデータベース入力作業

データベース入力作業

芳住委員

最近、自宅等で作業を行うテレワークを耳にするが、早期な作業の観点から導入してはどうか。

山本社会教育課長

内部で検討したい。

※テレワークとは・パソコン等を活用し時間や場所に捉われない柔軟な働き方のことです。

▼青年の家の給食

但野委員

委託業者は、今年度からふれあい夕食事業も受け持ち、食事の配送や安否確認等の業務を行うため、青年の家に支障を来すのではないか。

山本社会教育課長

業者から特段協議は受けていないが、改めて新年度に協議したい。

但野委員

リスクの回避から、利用者の食事持ち込みを可としてはどうか。

山本社会教育課長

建物本体の老朽化から内部協議を進めるので、その中で検討したい。

町海洋クラブ補助金

24万2千円

但野委員

前年度より3万2千円の増としているが内容は。

山本社会教育課長

指導者の養成をしたく1名分の研修費である。

但野委員

他の少年団やサークル等は実費で資格を取得している。本クラブは、賛助会員等から協賛金を得ているのでその中から対応できないか。

山本社会教育課長

通常の運営費では難しく、水上で行う少年団活動の指導体制を充実させた対象とした。

今年の町民グラウンド整備委託料

鳴海委員

大幅な増としているが今年度の委託内容は。

山本社会教育課長

例年は転圧のみであるが、一昨年から

ら近隣住民より強風時に砂が飛ぶ苦情を数多く受けた。この問題解消のためグラウンドを掻き起こし転圧する。



町民グラウンド

災害復旧費

3月10日の大雪の対応

鳴海委員

突然の降雪だったが避難所の開設や利用状況は。

中村総務課長

午後3時半頃から大狩部の国道で車が渋滞し、午後4時に大狩部生活センターと節婦生活館を避難所とした。その後9時半頃に国道がスムーズとなり午後10時に閉鎖した。この間利用者はいなかった。

一般会計(歳入)

地方消費税交付金

1億100万円

寺田委員

①この交付金は、国に納めた金額が一定の割合で地方に交付されるもので現在8%時の配分比率は国6・3・道0・85・町0・85と理解してよいか。
②10%になった時の配分比率は。

中村総務課長

①その通りである。
②まだ国から通知がなく不明である。

新冠地区地すべり防止区域

点検業務委託金

31万9千円

鳴海委員

前年から倍増しているが、新たに業務が発生したのか。

坂東建設水道課長

従来の西泊津・泉地区に太陽地区が加えられた。

立木売払収入

1098万7千円

比宇川土砂売払収入

33万6千円

鳴海委員

①売払箇所と規模を伺う。

②使用目的と規模を伺う。

島田産業課長

①2事業あり岩清水・緑丘等の地区で2644㎡、若園地区で1896㎡。

坂東建設水道課長

②例年春先は土砂が堆積し町が掘り上げていたが、今年度は業者から当該箇所を望む声があったので売払する。
なお、運搬も業者が対応する。

歳入歳出全般

ふるさと納税

竹中委員

ポイント制の導入を検討しては。

中村総務課長

当町の現状に合致するか検討する。

公債費(借金)と基金(貯金)の見込み

武田委員

年度末の見込みは。

中村総務課長

公債費は26年度末69億9758万円、27年度末は66億1890万円。基金は26年度末21億5763万円と見込んでいる。

武田委員

今後の見通しは。

中村総務課長

公債費は年々減っていくと推移している。基金は大きな財源を占める普通交付税が落ちているので、今後の積み立ては難しいと考える。

▼介護予防地域支援事業受託事業収入

1426万6千円

寺田委員

様々な事業を行っているが、専門用語も多く住民がわかりにくいので明確な周知としては。

堤保健福祉課長

課内で検討し適切な周知を行う。

▼新年度の予算

寺田委員

今年の予算内容や規模は他町に比べ物足りなさを感じる。

町はどのような考えの予算としたか。

小竹町長

大きな財源を占める普通交付税の減に伴い、このような予算編成となつたが、前向きに町の発展につながる取り組みを考え、主に一次産業の振興に力を入れたい。

簡易水道会計

▼芽呂地区の簡易水道整備事業

竹中委員

本管の移設先はどこか。

坂東建設水道課長

管理面などから道路敷地の路肩を考えている。

▼光熱水費

2332万8千円

▼施設維持手数料

116万3千円

鳴海委員

それぞれ増額の要因は。

坂東建設水道課長

太陽地区に施設が増えたので電気料と手数料が増となった。

▼今年度の水道使用料

但野委員

5月から食肉センターがオープンする予定だが料金は見込んでいるか。

坂東建設水道課長

初年度のため見込みが想定できず計上していない。

国保会計

▼国保既存システム改修業務委託料 (歳出)

鳴海委員

少額予算となっているが、どの程度の改修内容か。

堤保健福祉課長

法改正に伴うプログラムの改修。

▼保険財政共同安定化事業交付金 (歳入)

2億1987万4千円

但野委員

前年度より1億円以上の大幅増だがなぜか。また、国は今年度から財政支援の拡充を行うが、この交付金が該当するのか。

堤保健福祉課長

従来は30万円以上のレセプトが対象であったが、法の改正で今年度からすべてのレセプトが対象となり大幅増となっている。国の支援とは別である。

介護サービス会計

▼カーテン借上料の未計上

鳴海委員

今年度なぜ計上されていないか。

山下老人ホーム所長

リースアップを図った。

▼デイサービスセンター指定管理委託料

2993万円

但野委員

前年度から70万円程度減とした理由は。

山下老人ホーム所長

委託内容は利用者の送迎車両2台に係る経費を指定管理しているもので、今年度1台の車検費用がないため。

▼特老の待機高齢者

但野委員

現在入所希望者が100名を超える中、待機者をなくする取り組みは。

小竹町長

今後も介護を必要とする高齢者は増えると思う。町は支援するため施設面を含め検討していく。

寺田委員

説明で空きベッドの解消が図られたことだが、どのような策を講じたか。

山下老人ホーム所長

毎月1回入所者の判定会議を行い、その中で次にベッドが空いた時の候補者を選定している。結果空きが少なかった。

寺田委員

介護報酬が改定され収入が下がるよ
うだが、今後の経営をどう展望してい
るか。

山下老人ホーム所長

2月に示されたので今年度予算
に反映できなかったが、試算で約
1200万円の減額を見込んでいる。
対策は入所者の負担も伴うので同意を
得なければならぬが、加算サービス
等を行い対処したい。

国保診療所会計

▼出張応援診療放射線技師報酬

50万円

但野委員

常勤技師が1名いる中、どのような
雇用形態か。

坂本診療所事務長

常勤技師が夏期休暇等取得の際に対
応するもの。

▼診療収入の減

但野委員

①前年度より3800万円の減として
いるが、収入増に向けた対策は。
②患者頼みの受け身経営になっている

と思わないか。

③根本的に外科の常勤診療と入院がな
いのが要因ではないか。

坂本診療所事務長

①親切丁寧な対応に努め、町民が利用
しやすい環境をつくり収入増につなげ
たい。

②患者を待つだけではなく、医師にお
願いし講演会等を行いPRしたい。

③そのように考えてはいるが、医師の
確保が難しく現在の応援診療が限界で
ある。しかし、他の機関とも相談し確
保に向けて努力したい。

但野委員

やはり常勤の外科医が必要と思うが
町長はどう考えるか。

小竹町長

必要とは思っている。

但野委員

現在空いているベッドの対策は。特
老の待機高齢者の受け入れに活用して
はどうか。

坂本診療所事務長

日によっては、満床になることもあ
るので理解してほしい。

▼委託料収入の減

竹中委員

25年は医師1名体制だったので、こ

れまで受託していたものを外部にお願
いした経過があるが、現在は3名体制
なので受け入れは可能と考えるが。

坂本診療所事務長

可能であるが、相手方がすでに別な
機関と委託契約している。

竹中委員

収入増につながるもので、元のよい形
に戻すよう取り組んでほしいが。

坂本診療所事務長

相手の問題もあるので慎重に取り行
う。

▼内科医師3名体制の予算

芳住委員

3名体制となり何か予算に反映され
ているものはあるか。

坂本診療所事務長

すべて内科なので整形外科の応援を
組んだ予算となっている。

芳住委員

前年度予算より好転していないのに、
なぜ3名体制が必要なのか。

坂本診療所事務長

救急含む24時間365日の診療体制
を取るため。

芳住委員

3名体制にしたメリットは何もない
のか。訪問診療などは行っているか。

坂本診療所事務長

現在10件程度行っており、以外に健
康診断等の業務も行っている。

芳住委員

患者が1人の医師に集中し、待ち時
間に苦慮している。3名いるのになぜ
順調な診療ができないか。

坂本診療所事務長

患者が医師を選んでいる。他の医師
も評判がよいので、年数が経過すれば
患者も定着すると思う。

芳住委員

町が最終的に目指す方向性は。

坂本診療所事務長

町内唯一の医療機関として、診療体
制を整えケースによっては適した医療
機関につなぐ。

芳住委員

3名体制による診療の方向性と施設
の老朽化をどう考えるか。

小竹町長

元の3名体制で診療所を維持してい
く。施設は数年で改築に向けた方針を
定めたい。

▼今後の国保診療所

武田委員

プロジェクトの中で問題点や対策に

ついでどう取り組むのか。

中村副町長

現在の町民の診療動向や近隣町にバックアップ体制が取れる病院があることから、今の24時間365日の救急体制と入院病床を持つことがよいのか考えなければいけない。

新しい医療の提供をプロジェクトの中で協議し、近隣町とも相談したい。

竹中委員

近隣町との協議の進み具合は。

中村副町長

医師会との協議も必要なため、当町の診療所の実態と今後の考えを説明した。詳細な動きはこれからとなる。

▼消費税増の影響

寺田委員

今後10%になるが影響は。

坂本診療所事務長

入院・外来の診療収入は消費税が課せられず、支出部門の大半は課せられるので、当然診療所の負担は増える。

※下水道会計・後期高齢者医療会計には質疑はありませんでした。

審議した議案等

平成27年第1回定例会

平成27年3月4日

条例の制定

◎家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例制定

◎特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例制定

◎放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例制定

【内容】今年4月から始まる子ども子育て支援新制度により、市町村が条例で定めることが法律で義務付けされ制定するもの。

新制度の対象施設や事業を市町村以外の者が実施する場合に、適切な環境と設備をもって教育・保育の水準を等しく確保するための基準。
(全員挙手により原案可決)

秋山議員

家庭的保育事業と当町のこども園は何か関係してくるか。

奥山町民生課長

この事業は、19名以下の小規模施設を町が認可するもので、特段はないが施設の連携が関連する。

秋山議員

保育士は、条例で研修修了者であれば可としているが、保育の平等性から有資格者が必要と考えるが。

奥山町民生課長

本来は全員が望ましいが、国に準じ一定程度の有資格者を配置する基準としている。

秋山議員

町内にも民間の保育施設があるが対象とならないか。
奥山町民生課長

制度説明を兼ね当該施設に伺ったところ、定期な保育を行っていないので対象とならない。

寺田議員

4月からこの条例が適用されることは、保育士の研修はすでに終わっているのか。
町はどのような過程を経て修了者と認定するのか。

奥山町民生課長

5年間は要件を満たさずともよい規定があり、今後国から研修内容など詳細事項が示されると思う。

◎特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担に関する条例制定

【内容】子ども・子育て支援新制度による利用者負担額を定めるもので、保

護者の所得状況等を勘案した現行保育料を基に、国の基準を限度に市町村が定めるもの。
(全員挙手により原案可決)

秋山議員

本条例で、料金を納付しない場合の督促状の発行や延滞金を定めているが、事例はあるのか。

中村副町長

本来は条例に基づき行うべきだが、実際は納付期間が過ぎても、町から納付を促す連絡をしているので事例はない。

◎職員の給与に関する条例の一部改正

【内容】人事院勧告に基づき国の関係法律が昨年11月に改正され、町も条例を改正するもので、官民の給与格差の縮小は図られているが、民間賃金の低い地域を中心に依然として、公務員の給与が高いとの指摘があることから、給料表の水準を平均で2%、最大4%引き下げるもの。

ただし、経過措置として3年間に限り現在の給料との差額が支給される。
(挙手多数により原案可決)

秋山議員

給料が下がると購買力も下がり、町内の経済にも影響を及ぼすと思うがメリットはあるのか。

中村総務課長

これまでも人事院勧告に基づき取り扱ってきた。メリットがなくても取りやめはしない。

◎町長等の給与に関する条例等の一部改正

一部改正

【内容】国の関係法律が改正され、教育の政治的中立性・継続性・安定性を確保しつつ、地方教育行政における責任の明確化などを図ることから、教育委員長と教育長を一本化した新教育長を置くことで教育委員長が廃止される。教育長は一般職から特別職となり、任期も4年から3年となるため、関係条例を改正するもの。

(挙手多数により原案可決)

寺田議員

現行制度で、安定性などが確保できなくて改正されたと思うが、具体的に何を指しているのか。

杉本教育長

23年に道外で、いじめが原因とされる子どもの悲しい事件があったことに對する迅速性の対応や、責任の所在などが指摘され改正されたと考えている。

寺田議員

制度が改正され何が強化されるか。

工藤管理課長

新年度から総合教育会議が設置され、町長と教育委員会が従来以上に密な協

議ができると考えている。

◎有償旅客自動車運送事業の実施及び運営に関する条例の一部改正

【内容】 コミュニティバスを1台増やし、4月1日から新たな運行路線を加えることから、旅客運賃などを追加するもの。

(全員挙手により原案可決)

鳴海議員

現行の運行状況の検証は、何年程度を目標に考えているか。

佐藤企画課長

基本的には1年ごとだが、ニーズも変化していくので利用者の実態を把握し、柔軟な対応をしたい。



新しく導入したコミュニティバス「メロディー号」

平成26年度

補正予算の審議

事業予算と質疑Q&A

3月4日

一般会計

【内容】既定予算に7737万9千円を追加し51億4521万2千円とした。(財源は主に地方交付税等)

歳出 総務費

▼ふるさと納税特典購入費

補正金額 605万6千円

椎名議員

今後、特典品に加えられる産品は何か。

中村総務課長

これまで以上に町内を探し、よい産品があれば都度加えていきたい。

▼林業専用道整備事業

補正金額 2660万円

鳴海議員

①道路の計画勾配(傾斜)はどの程度か。

②完了後の維持管理の取り組みを伺う。

島田産業課長

①今後行う実施設計で考えたいが、災害が起きない法面とし、10tトラックが運行できる道路にしたい。

②通常の林道と同じ管理をしたい。

歳出 民生費

▼社会福祉費の減額補正

椎名議員

大半の経費を大幅に減額しているが、要因は予算設定が甘かったのか。

中村副町長

臨時福祉給付金など新制度の事業もあり、見込みが想定できず執行残が生じた。

歳出 衛生費

▼出産時宿泊費助成金の減額

補正金額 △110万1千円

武田議員

減額の要因は対象者へのPR不足か。堤保健福祉課長

ホテル等を使用せず、病院に入院し出産される方が多かった。周知は適切に行っている。

歳出 農林水産業費

▼農業支援員の募集

提議員

どのような募集方法を行っているか。

島田産業課長

町のホームページや民間サイトの利用。また、札幌・大阪・東京での新農業人フェアの参加等。

26年度は、本州方面のスポーツ新聞への掲載等も行った。

▼軽種馬市場上場促進事業補助金

補正金額 88万5千円

竹中議員

事業対象としている市場は。

島田産業課長

北海道市場でトレーニング・セレクション・サマー・オータムセールsの4つである。

竹中議員

支給をもっと早くできないか。

島田産業課長

軽種馬農協からは1月末でないとも額が確定できないと聞いている。

また、今回は予定していた頭数より多かったので増額予算となった。

▼黒毛和種繁殖雌牛導入事業補助金

補正金額 △ 90万円

中川議員

減額の要因と頭数は。

島田産業課長

対象農家より、早く種付けができるため高い価格でも素牛を購入したい希望が、当初15頭あったものが実績6頭となり、9頭分を減額するもの。

歳出 商工費

▼新冠温泉施設指定管理料

補正金額 1780万円

但野議員

補正後の額は。

佐藤企画課長

3199万4千円。

寺田議員

増額する理由は。

佐藤企画課長

現指定管理者から、入浴部門で赤字が続く額も年々増加傾向との申し出を受けた。

町は、『物価水準の変動等の理由で、不適當と認められた時は変更を申し出ることができる。』と協定を取り交わしていることから、設置目的の『町民に健全で快適な休養の場を提供し、心身の健康増進を図る』観点で、管理料の考

え方を見直した。

寺田議員

町は、当初予算を設定する段階で把握できなかったのか。指定管理者より事業計画書等が提出されていたと思うが。

佐藤企画課長

管理料は従前から、井戸及びプラントの維持・管理に係る実費を支給してきたが、近年燃料費や電気料が高騰し入浴部門に影響が及んだ。

町はこれまでの支給内容に無理があったと考えており、当初予算設定時に詳細な議論がもつと必要だったと思う。

寺田議員

協定で範囲を明確に決めたにも関わらず、曖昧が生じることに疑問を感じるが。

中村副町長

協定は、基本協定と年度ごとに決める協定と2つある。今後も町は、指定管理者制度で温泉の運営を行うのが最もよい方法だと思っている。

鳴海議員

入浴部門だけではなく、宿泊等他部門にも一層の努力を促してほしいが。

佐藤企画課長

営業努力を促すルールを決め今後にあたる。

歳出 土木費

▼町営住宅入居者選考委員報酬

補正金額 △ 11万6千円

武田議員

減額の要因は委員会開催数の減と思うが、募集自体も減としたのか。

坂東建設水道課長

例年5回の開催予定としていたが、本年度は空き戸数が少なく4回となった。

武田議員

新規の方が入居する際、照明器具が設置されていない旨を適切に説明しているのか。

坂東建設水道課長

行き届いていないとすれば、丁寧に対応したい。

武田議員

最低限、照明器具1つは設置している状態で募集してはどうか。

坂東建設水道課長

玄関は点灯するので、これまで同様に個人対応したい。

歳入歳出全般

▼地域介護・福祉空間整備

交付金事業の繰越(歳出)

繰越額 3千万円

鳴海議員

この事業は現在、字本町旧チビッコ広場で建設中の就業・地域生活さぼりとセンターの交付金であるが、12月に工事費と備品購入費を予算措置後、工事費だけ繰越しているが残りの備品は何か。どこに納品されているか。

堤保健福祉課長

備品は3月中に納品となり、一時的に新冠ほくと園で保管する。事務用机や家具・調理器具等の備品であり、これらは繰越が認められない。

鳴海議員

補助金を支出する以上、備品等は確認されているか。

堤保健福祉課長

納品後必ず確認する。



建設中のさぼりとセンター

国保会計

【内容】既定予算から125万3千円を減額し8億224万6千円とした。

▼出産育児一時金（歳出）

補正金額 △ 255万円

寺田議員

減額の要因は支給対象者の減と関係が、異常児出産に対する補償制度の関係で、指定機関を利用しなかったのか。堤保健福祉課長

そのような方はいない。

介護サービス会計

【内容】既定予算から386万3千円を減額し3億190万1千円とした。

▼介護職員等賃金の減（歳出）

鳴海議員

1名減とのことだが、入所者へのサービス低下にはつながらないのか。また、今後もこの体制で行うのか。

山下老人ホーム所長

補充はパート職員の出勤を増やし対応した。法で規定されている職員数は確保している。

国保診療所会計

【内容】既定予算から1503万円を減額し4億5591万5千円とした。

▼入院・外来収入の減額（歳入）
補正金額 △ 5911万4千円

但野議員

減額する大きな要因は何か。

坂本診療所事務長

26年度は医師3名体制のため、1日の患者を入院16人・外来100人を見込み予算計上したが、25年度に医師1名体制となり休診等を余儀なく行ったので、他の病院等に患者が流れてしまいう当診療所に戻って来なかったことが挙げられる。

但野議員

常勤の外科医が不在なことも挙げられると思う。内科医師3名体制で進むのであれば、どのような方策で現状を打開するのか。

坂本診療所事務長

過去に3人目の医師は、外科医を確保したく募集したが応募がなかった。待つ選択肢もあったが、1名体制の反省を生かし医師3名を確保したい所長の意向もあつた。

常勤外科医の確保や週1回行っている整形外科の診療日数増も難しいが、努力は引き続き行う。

▼超音波機器の導入

武田議員

導入した理由は何か。これが患者減少の歯止めとなればよいが。

坂本診療所事務長

所長の意向による更新。

▼一般会計からの繰入金（歳入）
補正金額 4252万6千円

秋山議員

補正後2億4千万円の繰入金となるが、今後の対応策は。

坂本診療所事務長

経費節減等行っているが、やはり診療収入を上げる以外ないと考える。親切丁寧な診療を行い、町民から信頼されるよう努力し改善を図りたい。

◆JR日高線の復旧状況等

堤議員

- ①本線の不通に伴い観光に与えた影響額等は。
- ②町民の利用者数は。
- ③JRは、復旧に時間をかけて廃線にしていくのではないかとという報道もあつたが、懇談等で町長はどう感じたか。

佐藤企画課長

- ①把握していない。
- ②高校通学者のみ把握しており41名が利用。

小竹町長

- ③现阶段で廃線の話は出ていない。

武田議員

復旧に多額の費用を要することから、町にも負担を求められると心配するが、

小竹町長

町が負担する考えはない。JRは国が100%出資している会社なので、最終的には国が責任を持つものと考えてる。

鳴海議員

漁業者の生活や国土を守る観点からも、町には一層の努力をしてほしいが、

小竹町長

本来はJRが対応すべきと考えるが、国土保全から国へも支援を要望していく。



被災現場の様相

◆平成27年3月10日の

大雪による農業被害状況

椎名議員

復旧は終わったとのことだが、まだ倒れたハウスが見受けられるが詳細は。

島田産業課長

被災を受け支援するのは3戸で、うち2戸の方は復旧を終えている。

残り1戸の方は、諸事情により秋頃に行く。

武田議員

ハウス以外に農地法面の土砂流出もあったことだが、詳細を伺う。

島田産業課長

被災箇所は万世地区で、非常に水が集まりやすく、そこに融雪水が溜まり決壊が生じた。

◎専決処分(国民健康保険税の改正)

【内容】国の関係法律の改正に伴い条例改正が必要になったもので、国保税の課税限度額の引き上げと軽減措置の拡充が盛り込まれたもの。

(原案承認)

堤議員

軽減措置について改正後、対象者の変化は。

堤保健福祉課長

試算で、11世帯35万3千円軽減額が増える。

◎専決処分(国保会計補正予算)

【内容】過疎地域に所在する国保の直営診療施設(当町は国保診療所)の運営費に対する補助金の基準で、実勢を反映した見直しが行われ、施設単価の引き上げと入院施設に係る加算が新設され、7451万4千円が交付される。よって、歳入予算で計上し歳出予算で、診療所会計への繰出金を措置したもの。(原案承認)

堤議員

①増額された交付金は今後も継続されるのか。

②国保会計は、一般会計から繰り入れを受けて運営しているが、その分は減らないのか。

堤保健福祉課長

①まだ明確になっていない。

中村総務課長

②減額する一般会計歳出予算は、国保会計への繰出金ではなく、国保診療所会計への繰出金としている。

堤議員

平成30年から国保の運営は都道府県になるが、27年から29年の間は1700億円ほど全国の市町村に交付されると聞く。当町に交付される額はすでに決定しているか。

堤保健福祉課長

情報では国保の財政基盤強化のためだが、正式な詳細等はまた町に届いていない。

武田議員

実勢を反映した見直しとあるが具体的に。

坂本診療所事務長

今回の交付理由を道に確認したところ、この回答であった。それ以上は町も把握できない。

議事を傍聴してみませんか

町政はあなたのために。

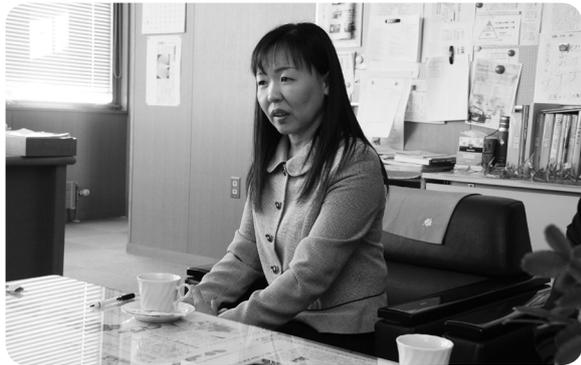
次の定例会は、9月に開会の予定です。

手続きは、4階の傍聴者名簿に住所・氏名を記入するだけです。

日程等については、議会事務局までお問い合わせください。

(電話47-2559(直通))

『こころ』 ～教育委員として～



☆字本町 下山 美佐江さん☆

教育委員に就任して3ヶ月ほど経ちましたが、強烈に思うのは『私は、教育委員会というこんなにも細やかなシステムが確立された環境の中で子どもを育てていたんだな。何とありがたいことだったんだろう。』という感動です。子どもが健やかに、伸び伸びと社会で健全に生きていく知恵と力を育むために、いろいろな角度から情報網を駆使して、最善の策が取られていく様子を目の当たりにしています。どの世界でも同じですが、今の心地良さが数えきれない失敗と犠牲の上に成り立っていることを忘れてはいけないと改めて感じています。

今回、そのお手伝いをする機会を与えていただいた訳ですから、少し衰えかけた思考回路をフル回転して、足を引っ張らないように任務を遂行したいと思っています。

topics 議会の話題

堤議員・武田議員が自治功労者表彰を受賞
～全国町村議会議長会表彰～

永年にわたり、町村自治の振興発展に寄与された功績が称えられ、堤議員と武田議員の2氏が、全国町村議会議長会より自治功労者表彰を受賞されました。

両議員とも平成11年から議員を務められ、今年で17年目を迎えます。

3月4日の定例会開会前に芳住議長から表彰状が伝達され、その後に代表して武田議員がお礼のあいさつを述べました。



あとがき

▽国は統一地方選挙をもにらみ「地方創生」の名の下、1兆4200億円の予算を確保し、当町ではすでに7500万円分の地域商品券を発行して、町内経済の活性化と還流に資したところです。

▽今後、人口減対策の地方創生が、国と地方互いの歯車が噛み合った機能発揮の可否は、町が作る地方版総合戦略にかかっています。

▽2016年からの事業化に向け、町民皆さんと知恵を出し合い実りある計画に繋がりたいものです。

今号のあとがき担当

鳴海修司

議会広報常任委員会

- | | |
|------|--------|
| 委員長 | 秋山 三津男 |
| 副委員長 | 長浜 謙太郎 |
| 委員 | 竹中 進一 |
| 委員 | 但野 裕之 |
| 委員 | 鳴海 修司 |

発行責任者

議長 芳住 革二

この議会だよりは、会議録に基づいて議会広報常任委員会が内容を要約し、掲載しています。新冠町議会の情報は町ホームページでご覧いただけます。また、レ・コード館図書プラザに「閲覧用会議録」を配備していますのでお気軽にご覧ください。【年4回発行】

発行／北海道新冠町議会 〒059-2492 新冠郡新冠町字北星町3番地の2

編集／議会広報常任委員会

TEL 0146-47-2559 (直通)

FAX 0146-47-2500

町ホームページ <http://www.niikappu.jp>